



海外展開やオリンピック需要に向け 環境対応製品の販路拡大

課題

海外展開に向けて商品を改良したい

モモやブドウなどの果実農業が盛んな甲府盆地に位置する株式会社堀内製作所。昭和55年に自宅で起業し、平成17年に現在の場所に工場を建設した。電子機器などのプリント板の表面実装などを行う事業を行ってきたが、近年は需要の低迷ともなう取引先の減少や単価低下で厳しい経営状況が続いていた。

そこで、今後伸長が期待できる環境関連機器の製造・販売を平成24年より開始したところ、需要が急増。「環境事業部」として組織整備し、平成30年には法人化も実施。後継者である長男が役員（常務取締役）に就任し、事業承継に向けた準備も行っている。

世上の関心が高く、競合他社の商品とも差別化が図れる国内随一の抗菌能力がある環境照明「CCFL 抗菌ライト」は同社の看板商品である。そのさらなる顧客獲得のために同社では、電源事情の悪い中国やフィリピン、オーストラリアなどにも対応できる商品に改良し、宿泊施設・商業施設対応品として販路拡大を考えた。さらに、現在販売している商品の顧客ニーズを取り込むため、「CCFL 抗菌ライト」の後継商品の開発など、メニューの充実も急務だった。

経営者は優先順位をつけて課題を整理。解決に向けた取り組みを行うことにした。

支援

持続化補助金による 展示会出展で販路拡大

同社は山梨市商工会の支援のもと、小規模事業者持続化補助金を活用して、営業面で必要不可欠だった「分光計」と「照度計」を導入。食品加工場・厨房・病院・介護施設などで好評を博し、受注拡大を実現させた。また、取り扱い商品の周知徹底のために、ホームページのリニューアルとあわせて、対象商品のパンフレットの作成・配布を行い、会社のイメージアップと商品認知度の向上につなげた。

また商工会は、経営意欲の喚起と育成を図ることを目的に、山梨県商工会連合会「モデル工場」への認定申請も行った。さらに、中小機構が主催する「新価値創造展2018」への共同出展もサポート。

展示会を契機に、病院や老人介護施設、障害者施設、保育



新製品の抗菌庫内灯

所などの感染予防、また、施設内トイレ、車載用トラック、タクシーなど消臭対策、さらに厨房、レストラン、食品加工場など幅広い分野での引き合いがあった。

同社は今後も引き続き、展示会・商談会などへの積極的な出展を行い、さらなる新規顧客獲得を目指していく。

また、今後伸長が見込まれる東アジア諸国に向けた販路開拓も行っていく予定。オリンピック需要に向けた新製品「バーライト形抗菌ライト」の開発も積極的に行っていく。

支援の経過

期間	支援内容
H28年3月	山梨県産業振興事業費補助金の申請支援
H28年、29年	展示会への共同出展支援
H30年1～3月	事業継承・法人化支援、 持続化補助金の申請支援
5月	山梨県商工会連合会モデル工場認定
7月	やまなし産業大賞の申請支援

会社概要

会社名：株式会社堀内製作所
 住所：山梨県山梨市落合271-2
 電話番号：0553-22-4887
 URL：http://www.horiuchi-s.com
 代表者名：代表取締役 堀内実
 創業年：昭和55年
 年間売上高：1億5000万円（平成30年）
 従業員数：25名（うち正社員8名）
 商工会名・担当者名：山梨市商工会・小俣輝義※、桂原珠美
 ※所属は支援当時